

森林やまがた

第53回全国植樹祭特集号

2002 6月



ネムノキを
お手植えされる皇后陛下

トチノキを
お手植えされる天皇陛下



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

目次

第53回全国植樹祭特集	
感じていますか 森があるしあわせ	2
全国林業者大会特集	
森林をおもう心 森林をつくる行動	6



感じていますか 森があるしあわせ

**第53回 全国
植樹祭の開催**

四十二年ぶりの開催

夜半までの雷雨もあがり、時折強い日差しが降り注ぐなか、『感じていますか森があるしあわせ』をテーマに第五十三回全国植樹祭が、六月二日金山町「遊学の森」において、県内外から約一万二千人の参加者を迎え開催されました。本県では、昭和三十五年の第十一回大会以来四十二年ぶりとなります。



第53回全国植樹祭式典会場

式典前のプロローグは、出羽三山神社山伏によるほら貝と米澤藩古式銃の号砲で幕が開き、大太鼓の揃い打ち、映像による県内の巨木の紹介、童謡・唱歌による「里山のふるさとメロデー」と続き、今回の全国植樹祭の理念や山形県の森林・林業の姿が映像で紹介されました。

森林育成に 一層の協力を

天皇后両陛下が御入場され、記念式典の開会となりました。大会会長と高橋知事による主催者あいさつのあと、天皇陛下は、「今回の植樹祭を契機に、森林に対する認識がさらに深められ、森林の育成に人々が協力しあう機運が一層高まることを願う」とお言葉を述べられました。

続いて、ポスター原画コンクールや緑化功労者の表彰、記念切手及び苗木の贈呈と進み、天皇后両陛下のお手植え、お手

播きが行われました。

天皇陛下には、ブナ、トチノキ、カツラを、皇后陛下にはオヤマザクラ、ネムノキ、ヤマボウシの苗木を、いねいに植えていただきました。また、お手播きでは、天皇陛下がブナ、スギを、皇后陛下がネムノキ、ヤマボウシの種子をまかれました。

一方、参加者には、式典の最後に、自然林の回復・再生を目指して、里山に広くみられる二十四種の広葉樹を記念植樹していただきました。また、各都道



お手播きされる皇后陛下

天皇陛下のお言葉

第五十三回全国植樹祭に臨み、ここ金山町「遊学の森」において、全国から集まった参加者と共に植樹を行うことを誠に喜ばしく思います。

山形県では昭和三十五年(第十一回植樹行事並びに国土緑化大会)が催されました。この時のテーマは「積雪寒冷地帯、林種転換拡大造林」であり、植樹されたシラハタマツは、関係者の保育の努力により厳しい気候条件に耐えて立派な森となりました。昭和六十三年に山形県で行われた第十二回全国植樹祭の折、私もこのお手植え樹六本に施肥をしましたが、これが、皇太子、皇太子妃として、私もが出席した最後の育樹祭でした。



今日、多くの先人の努力によって守り育てられてきた豊かで美しい森林は、木材資源を確保し、水資源をかん養し、生活環境を良好に保つなど、人々の生活にとつてかけがえのない役割を果たしております。特に、わが国の厳しい自然環境の中で、森林は、台風や集中豪雨のもたらす災害から人々を守るために大きく貢献してきました。世界的にも地球環境の保全のため、森林の持つ重要性はますます増大しております。年々減少していく世界の森林を、人類共通の資産として、共に守り育てていくことが極めて大切であり、現在、わが国の人々が、世界の各地域において森林の造成や保護に協力していることを心強く思います。国内における今後の問題は、森林をいかに活かに満ちた状態に保つていくかということにあると思います。間伐など手入れの行き届かない森林は、有用な木材の生産に支障をきたすばかりでなく、災害防止に寄与する森林の効果をも減退させます。今日、過疎化の進む山間地においては、特に活力ある森林の育成に、多くの人々の協力が求められています。今回の全国植樹祭を契機に、人々の森林に対する認識がさらに深められ、森林の育成に人々が協力し合う機運が一層高まることを願います。式典に寄せる言葉といたします。

府県の協力を得て、暖帯から亜寒帯までの変化に富むわが国の森林植生を学べる「日本の森」の造成・植樹をお願いしました。

「山形らしさ」を 全国に発信

式典では引き続き、昭和天皇御製の山形県民の歌「最上川」を主題に、酒田市出身の世界的なオペラ歌手市原多朗氏の独唱及び空撮を中心にした情景映像などで構成した「母なる川・最上川賛歌」、開催テーマである「感じていきますか 森があるしあわせ」を、子供たちが主役となつて歌と踊りで表現した創作演技が披露されました。

そして、国土緑化推進機構理事長による「大会宣言」、植樹祭のシンボルを次期開催県の千葉県に引き継ぐ「リレーセレモニー」と続き、式典の閉会となりました。



お手播きされる天皇陛下

過去最高の 千五百名の出演者

天皇皇后両陛下が御退席された後のエピソードでは、元気で華やかな「山形の夏まつり」を題材として「新庄まつり」の山車パレードを皮切りに、「徳内まつり」、「花笠踊り」が繰り広げられ、にぎやかに全国植樹祭の幕が閉じられました。

式典後には、県外参加者にさくらんぼのもぎとり体験をしてもらい、多くの皆様から好評を



プロローグ/山形県太鼓連盟による「森羅万象」の演奏



プロローグ/式典音楽隊による「里山のふるさとメドレー」の演奏



山形県民の歌「最上川」を独唱する市原多朗氏（前日リハーサル）



緑の少年団から武部農林水産大臣へブナの苗木の贈呈

いただくことができました。また、式典アシスタントや音楽隊、アトラクション等の出演者の総数は、全国植樹祭では過去最大の一千五百名にのぼりました。

今回の全国植樹祭の様子は、NHK総合テレビで十三時から（十時半から正午までNHK山形で県内に実況放送）、NHKハイビジョンで六月四日十六時から

それぞれ一時間にわたって全国放送されました。

森林文化社会の実現に向けて

以上のとおり、第五十三回国植樹祭は、盛会のうちに滞りなく無事終了することができました。これもひとえに、林業関係者の皆様をはじめ、関係各位

のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申しあげます。今後とも、県民総参加の森林づくり運動を着実に根づかせるとともに、森林と川と人とが支えあう二十一世紀にふさわしい森林文化社会の実現に向けて、一層取り組みを強めていく必要があると思います。

〔全国植樹祭推進事務局〕



「日本の森」の造成地に記念植樹する県外参加者



創作演技「感じていますか 森があるしあわせ」での鳩風船の放飞



エビローグ/「徳内まつり」を熱演する村山農高生



県内植樹地に記念植樹する緑の少年団



エビローグ/にぎやかにフィナーレをかざる「花笠踊り」



サービス広場での「お鷹ぼっぼ」の製作実演



式典の要所をかざるファンファーレ隊 (前日リハーサル)

第五十三回全国植樹祭の記念行事として、林業後継者や森林・林業・木材産業関係者が全国から集い全国林業者大会（第三十一回全国林業後継者大会）が六月一日真室川町中央公民館で開催されました。

釜淵番楽のオープニング、主催者挨拶等につき、西澤潤一岩手県立大学学長による記念講演「森林は人の命の源」、森巖夫明海大学教授がコーディネートを務めたパネルディスカッション「森を育て、木を活かす」などが行われ、参加者約七百名は「森林をおもう心 森林をつくる行動」の大切さを再認識する機会となりました。

（全国林業者大会山形県実行委員会）

第五十三回全国植樹祭の記念行事として、林業後継者や森林・林業・木材産業関係者が全国から集い全国林業者大会（第三十一回全国林業後継者大会）が六月一日真室川町中央公民館で開催されました。

釜淵番楽のオープニング、主催者挨拶等につき、西澤潤一岩手県立大学学長による記念講演「森林は人の命の源」、森巖夫明海大学教授がコーディネートを務めたパネルディスカッション「森を育て、木を活かす」などが行われ、参加者約七百名は「森林をおもう心 森林をつくる行動」の大切さを再認識する機会となりました。

（全国林業者大会山形県実行委員会）

テーマ 森林をおもう心 森林をつくる行動

全国林業者大会

第三十一回全国林業後継者大会

開催



オープニングの釜淵番楽



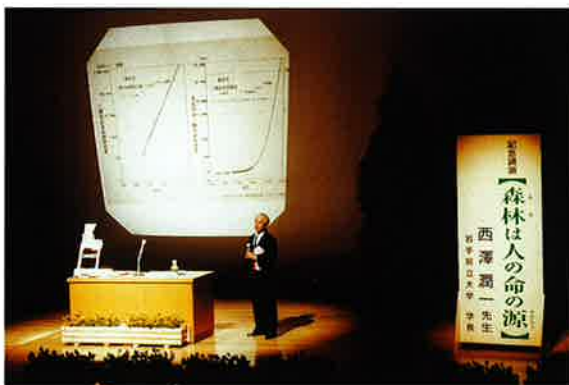
主催者挨拶をする金森山形県副知事



最上の杉で組まれた入口アーチ



遠藤武彦農林水産副大臣による祝辞



記念講演「森林は人の命の源」



山形巨木絵画展



「森林をおもう心 森林をつくる行動」の大切さを確認しました。



パネルディスカッション「森を育て 木を活かす」
左から 加藤周一氏、村山征彦氏、工藤幸吉氏、松山政藏氏、安部政昭氏

全国林業者大会を終えて

深緑が山々に映え、初夏の装

いも新たな六月一日全国植樹祭
記念行事である「全国林業者大
会」が真室川町中央公民館を会
場に県内外から七百名を超える
参加者を迎え盛会裏のうちに開
催され、翌日の全国植樹祭の成

山形県森林課長 加藤 勝 美
功に上げました。

この成功は、「簡素な中にも心
のこもったおもてなし」をモツ
トーに、極力イベント性を排除
し、本来の趣旨に則った手づく
りの運営に努めたことと、真室
川町、最上広域森林組合、林業

研究グループ等の関係各位の献
身的なご協力の賜物であると心
より感謝申し上げます。

私たちは、本大会を契機とし
て、人と森林とのつながりを一
層強固なものにし、健全で豊か
な森林を次世代に引き継いで行
けるよう努力して参りますで、
これまで以上のご指導、ご支援
を賜りますようお願い申し上げます。
お礼といたします。



21世紀にふさわしい健全で活力ある森林を次世代に引き継ぐ大会宣言



エンディング 安楽城の童唄保存会



交歓の夕べでは参加者による「真室川音頭」の踊りの輪ができました。

21世紀の緑を美しく、
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団
法人

山形県林業コンサルタント

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800
FAX (023)647-1801

環境を守ろう

災害に強い県土を
良質な水の安定供給を
緑豊かな環境づくりを

森林を育てよう

山村の生活環境の整備を
森林の恵みの循環利用を

山形県森林土木建設業協会

山形市桜町2-35(林業会館内)
電話(023)632-3893 FAX(023)632-5454

広げよう 緑をはぐくむ輪

財団
法人

山形県みどり推進機構

理事長 細野 武司

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265
TEL (023)688-6633
FAX (023)688-6634

印刷所
渡辺活版所
定価 一部二一〇円



森林やまがた特集号 平成14年6月15日発行

監 修 山 形 県

編集・発行 山形県森林協会

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内

TEL 023-631-6566 023-622-8823

FAX 023-631-6573

「ゆとり都」森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>
第53回全国植樹祭ホームページ <http://www.shokujusai-yamagata.jp>

古紙配合率100%再生紙を使用しています